

文学部文学科国文学分野卒業論文題目一覧

上野 智史

竹取物語の作者の意図

赤瀬 健

『今昔物語集』について 〓人々と宿報〓
宇治拾遺物語の研究 ―仏教を批判や笑いにし

磯田 奈菜

ている説話を中心に―

植田 有貴

芥川龍之介「羅生門」「鼻」について

氏福 裕介

鴨長明『方丈記』研究

大西 有紀

『大和物語』 〓作品中における恋愛観につい

岡 裕美

『古事記』一考察 ―嵐神―

加瀬田奈史

源氏物語の研究 〓六条御息所を論ずる〓

河村 達也

藤原定家『百人一首』

北田真実子

『土佐日記』における和歌について

佐伯麻亜紗

古典文学における鬼 ―『今昔物語集』を中心

清水 嘉仁

『今昔物語集』研究 〓巻第二十七・巻第二十

谷口 鈴香

九にみられる人々の生き様〓
小野小町の和歌について

仲村 紫磨

『紫式部日記』 〓紫式部日記から見受けられ

長谷川妙子

る紫式部の人物像について〓

平野佳水子

『源氏物語』研究 ―紫の上の苦悩について―
『源氏物語』考 ―紫の上と明石の君の關係に

ついで―

藤井 晶子

『古事記』 〓大國主神について〓
『古今和歌集』と『新古今和歌集』 ―忍ぶ恋

宮井 恵

の歌を中心に―

田村崎 恵

『こころ』の研究

羽坂 知起

梶井基次郎『檸檬』における「！」の使用法

脇田真之介

『舞姫』の研究

井上 真衣

『女殺油地獄』の研究

遠藤 靖子

『日本永代蔵』の研究

熊谷 陽子

『世間胸算用』の研究

小柴 茜

『猫のさうし』の研究

竹内 優

『冥途の飛脚』の研究

立端あずさ

『枕草子』の研究

田中 扶季

『大空』の研究

野條 涼雅

『赤光』の研究

星津 和香

『菅原伝授手習鑑』の研究 〓「桜は枯るゝ世

箭野 貴子

の中」に残された想い〓

西村 直樹

『好色五人女』の研究
司馬遼太郎「燃えよ剣」論 ―新選組土方歳三

白井 智也

の軌跡―

戎谷めぐみ

『范の犯罪』論

大江可奈子

『こころ』論

岡田 定明

海異記における怪異の存在について

岡本 享子

文字の害毒 〓『文字禍』に関する一考〓

園城 絵里

樋口一葉研究

宮沢賢治

ビジテリアン大祭

数田 祥子

江戸川乱歩作品における怪奇と幻想 — 『屋根裏の散歩者』を中心に —

片桐 翔子

坪内逍遙 ー細君ー

川口佳那子

「銀河鉄道の夜」を通して見る宮沢賢治の心的世界

北川 曜里

樋口一葉の描く女性

杵水 弘樹

泉鏡花の異界について

小泉 麦

人間の本能 — 田山花袋『蒲団』を通して —

小林 翼

志賀直哉論

小林 里枝

樋口一葉論

阪口 亮

「吾輩は猫である」についての考察

坂本 俊介

司馬遼太郎を通して見る現代日本

竹口 優

宮沢賢治研究

中村 知里

舞姫についての考察

成山 和希

尾崎紅葉『心の闇』について

橋本 祥子

芥川龍之介『藪の中』論

堀尾 典生

明治時代の科学者像

松本沙耶花

川端康成 ー『古都』についての考察

森本真由美

芥川龍之介作品における「芸術」と「家族」について

中村絵里子

与謝野鉄幹 ー『文壇照魔鏡事件』と妻・晶子、没落の真実ー

野尻 亜矢

司馬遼太郎 — 竜馬がゆく論 —

文学部文学科中国文学分野卒業論文題目一覧

小川 晴歳

王維の輞川集について

足立恵理子

飛天について

井川 寛子

中国民間信仰の神「方相氏」について

宇都良美香

中国「花神」についての考察

呉 世亨

水滸伝に於ける宋江について

木原 智代

京劇の研究 — 日本の歌舞伎との関連

竹中 基浩

顔真卿の二面性について

玉田由美子

中国の水時計「漏刻」について

徳岡穂有美

中国妓女考

徳田 潤子

『茶経』にみる陸羽の茶と千利休の茶について — 茶の精神の比較 —

早川由希子

明・瞿佑「詠物新題詩集」について

山田 友紀

三国志と三国志演義の間にもみられる「張冠李戴」

澤田 匠

日中麻雀比較